

微小部品の形状判別機、8割安く

精密機械金属部品を手がける二九精密機械工業(京都市)は微小な部品の形状を判別できる自動化装置を開発した。他社の装置に比べ価格を5分の1以下に抑え、導入しやすくした。部品検査の効率を高め人的ミスを減らしたい中小企業などの需要を見込む。開発したのは「クラベルゾウ」。価格は1台200万円程度。部品の大きさが異なっている場合、1つの部品あたり7秒で形状を判別できる。